



2020年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア
 代表者名 代表取締役社長 上山 富彦
 (コード番号 2687 東証第1部)
 問合せ先 経理・経営戦略グループマネージャー 牧 健太郎
 (TEL : 043 - 296 - 6621)

特別損失の計上及び2020年2月期業績予想値と実績値との差異について

当社は、2020年2月期 第4四半期連結会計期間（2019年12月1日～2020年2月29日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上するとともに、2020年3月30日に公表しておりました2020年2月期業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

(1) 2020年2月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2019年3月1日～2020年2月29日）

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年3月30日公表)	百万円 10,425	百万円 37	百万円 167	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想 (B)	10,427	37	165	△401	△81.30
増 減 額 (B-A)	2	-	△2	-	
増 減 率 (%)	0.0	-	△0.1	-	
(参考) 前期実績	10,916	31	△28	3,801	770.04

(2) 2020年2月期通期個別業績予想値と実績値の差異（2019年3月1日～2020年2月29日）

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年3月30日公表)	百万円 3,828	百万円 16	百万円 97	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想 (B)	3,828	16	97	△415	△84.26
増 減 額 (B-A)	-	-	-	-	
増 減 率 (%)	-	-	-	-	
(参考) 前期実績	4,060	△100	△101	3,794	768.79

(3) 特別損失の計上

昨年秋以降のホテル市況の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け本年1月下旬以降、売上高が減少していることから、昨年期初時点に想定していた中長期の収益計画の達成が難しくなると判断し、各ユニット型ホテル施設について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損判定を行いました。

なお、各施設の3月度の売上高は対前年比2割程度で推移しておりましたが、緊急事態宣言の発令を受け一段と宿泊需要が減少していることから、一部施設（4施設）の臨時休業を決定いたしました。また、大型レジャー施設の営業再開や国内宿泊需要の回復の兆しは夏以降から見られるものの、一定水準までの回復は秋以降となると想定したほか、外国人観光客の宿泊需要の再獲得には1年程度の時間を要すると見込んだことに加え、東京オリンピックの1年延期の決定に伴い収益計画を見直した結果、複数のユニット型ホテル施設のほか、一部コンビニ店舗の資産についても固定資産の減損処理を行うことから、特別損失5億48百万円を計上いたします。

※なお、休業施設の営業再開時期については、緊急事態宣言の解除や宿泊需要の動向を見極めながら、適宜判断してまいります。

(4) 差異の理由

個別実績においては、上記記載の減損損失を計上したことで、前回未定としておりました当期純利益は、4億15百万円の当期純損失となりました。

連結実績においても、同様の要因により業績予想と実績値差異が発生しております。

以上